

主の年 2020年

明けましておめでとうございます。この年も皆様に神様の豊かな祝福をお祈りいたします。

集会のご案内

- 主日礼拝 日曜日 午前10:30～11:45
- 子どもチャペル 日曜日 午後1:00～2:00
※幼児から中高生対象
- ゴスペル教室 月1回 月曜日(原則) 午後7:00～9:00
- オカリナ教室 月1回 第1木曜日 午後6:00～8:00
※各教室は見学もできます。詳細はお問合せください。

今年も教会ではあなたのおいでを心からお待ちしています。



教会からのオススメの一冊

「バイバイしんからん

～キミは進化論を信じているの?～
菅原美智子 著

「多くの人が進化論を信じているけれど、キミはどう?」「あるときボクは創造論に出会ったよ。創造論って知ってる?ゼーんぶ、神さまがつくったんだって…」(本書中より)。

日本では当たり前のように新聞・テレビで見聞きし、学校では定説として教えられ、常識と考えられている進化論。しかし、今回ご紹介する「バイバイしんからん…」は、はっきりと訴えます。よく調べると、進化論には多くの疑問点があり、ほころびがあるのだと。そして、聖書が語る通り、神様が全てを創造されたという創造論に目を向けると、その疑問点が解消していくのだと。

冒頭に引用したような平易な文体に、可愛い挿絵と正確な写真の模写が折り込まれ、大人でも子どもでも読みやすい工夫がされています。本書をきっかけにして、ぜひ調べてみてはいかがでしょうか。



「はじめに神が天と地を創造された。」
(創世記1:1)

「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見出します。たたきなさい。そうすれば開かれます。」
(マタイの福音書7:7)

詠み人知らず

しづるるや
夫(つま)なき庭の
白い花

山茶花の白い花が好きだった夫が天に召されて、九か月が経とうとしています。夫は齢九十も間近という時に、教会で夫婦ともども洗礼を受けました。

それは、仕事を辞めて、引き籠もりのようになって鬱々と日々を過ごしていた私どもの息子が、教会で洗礼を受けたのち、みるみる立ち直っていったことがきっかけでした。夫にとって、どれほど嬉しかったことでしょう。夫も私も神様に感謝すべく、礼拝へと通い始めたのです。

日曜の朝は、いつも親子三人で歩いて教会へと通ったことを懐かしく思い出します。教会行事の運動会では趣味のカメラを首から下げて、あちらこちらでシャッターチャンスを狙っていたものでした。本当に教会の方々に愛していただき、神様に愛していただいて、恵みに満ちあふれた晩年だったのだと、胸が熱くなります。

思えば、昭和ひとけた世代、典型的な日本のサラリーマン家庭で、神様とは全く無縁の人生を送っていた夫と私が、このように教会へと導かれたというのは、本当に奇跡のような神様の不思議なご計画としか言いようがありません。

私自身、この大きな恵みの中に入れていただいていることに感謝しつつ、そして、夫との再会の約束をいただいていることを信じて、残された日々を神様とともに歩んでいきたいと願っています。

宝塚栄光教会 牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。0797-77-3746

ポッドキャストでも配信! ホームページから利用できます。

礼拝 毎週日曜日 10:30～11:40



新しい歌を歌え

あけましておめでとうございます。今年も神様の恵みがあなたの上に豊かにありますようお祈りいたします。

新年を迎えると、気持ちも新しくなったような、晴れ晴れとした思いがします。新しいカレンダー、新しい日記帳、新しい家計簿…すべてがここからスタートするような、身も心も引き締まるような思いです。

しかし、現実はどうでしょうか。今までと変わらず、希望の光など見えてこない厳しい生活が続いていませんか。“何も新しくなっていないじゃないか”とがっかりしませんか。

けれども、聖書をひもとくと、希望を与えてくれる言葉がたくさんあります。その一つに、「新しい歌を主に歌え。主は奇(くす)しいみわざを行われた。」(詩篇98篇1節)という言葉があります。

歌は、私たちが時には慰め、時には奮い立たせ、時には安らかな思いに浸します。しかし、ここで言われている歌は、自分に向かって歌うものではなく、主にに向かって歌う歌です。

主をほめたたえる賛美です。“主はすばらしい”と賛美するのです。たとえ状況が厳しく、不安に囲まれていてもです。なぜ賛美することができるのでしょうか。主が奇(くす)しいみわざ、不思議な事を行われたからです。

それは何でしょうか。私たちのたましいの救いです。神の子イエス・キリストが十字架にかかって、私たちの罪を全部赦してくださいました。私たちの罪を全部赦してくださいました。私たちの罪を全部赦してくださいました。

キリストは罪のない神の子でしたが、私たちのために身代わりに十字架でいのちを捨てられました。そして、三日目に復活されました。このキリストを信じるなら、私たちはどんな罪も赦され、永遠のいのちが与えられ、天国の希望をもって歩いていくことができます。

この救いのみわざを主がなしてくださいましたから、私たちは心から主に向かって賛美をささげることができます。この新しい年、キリストを信じて、新しい歌を主に向かって歌いつつ、前進していこうではありませんか。



「ヤドリギ」

ここ数年 新春の山歩きを続けている
雑多な地上が 遠ざかっていく
耳に聞こえる音も聞こえなくなると 静まりかえる世界となる
目に見える景色は 雪の色
歩きながら 静かに落ち着いていく自分に気づく
やっと取り戻した自分であった
こうして向き合って 覗きこんでみると
驚くほど柔らかい自分であった

顔を上げると 青々と広がり続ける天空

そして 一本のシラカバと その枝の間にやどるヤドリギを見つけた!
葉を落としてしまった 冬の枝なので ヤドリギが鮮明に見えた

なんだか ヤドリギに激励されているようだった
なんと 心がたまらなく軽やかになったようだ
新しい一年 大事に生きていこうと思った

主の命令は まっすぐで 心に喜びを与え
主の戒めは 清らかで 目に光を与える

詩編19編 (聖書)